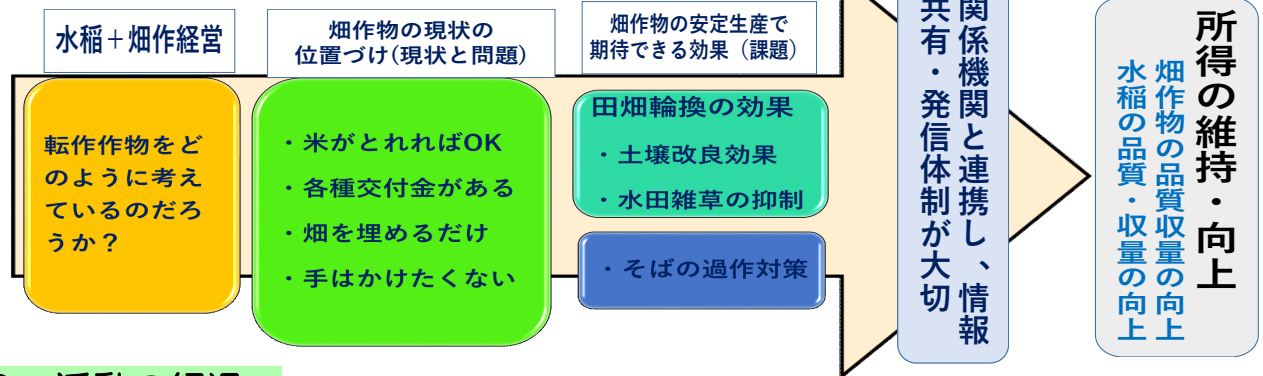


火のない田んぼで畑はできぬ part 2

～ 水田転作地帯で畑作に携わる人材の育成 ～
 対象：管内JA畑作担当職員

1 活動の背景

対象地域：JAきたそらち管内（北竜町、雨竜町、深川市）



2 活動の経過

昨年雨竜町、北竜町で取り組んだ関係機関との協働活動の成果を基に、本年度は深川市を加えたJAきたそらち一円とし、農業者、普及センター、JA畑作担当の人材育成も兼ねた活動を図った。

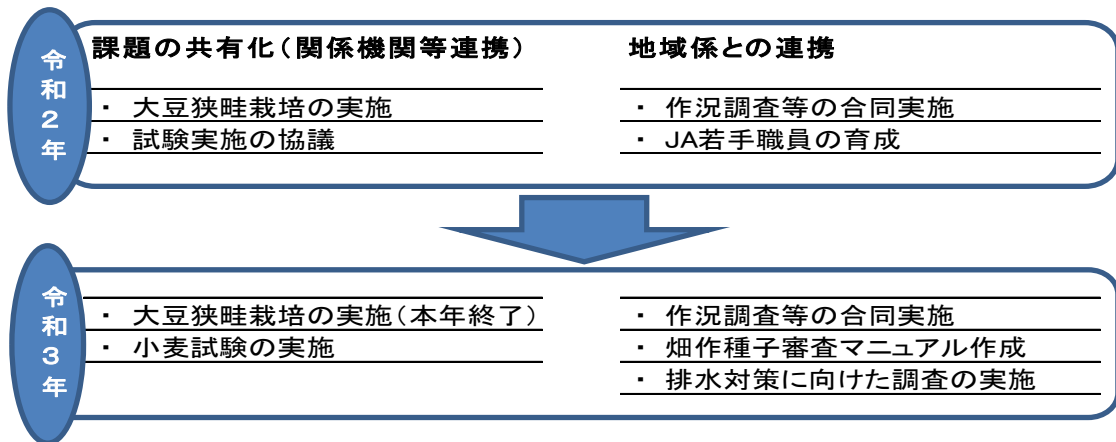


写真1 関係機関との打合せ(5/31)



写真2 所内そば種子審査前目合わせ(7/7)

3 成果の具体的内容

◇関係機関との連携構築

大豆狭畦栽培では、主要害虫の予察防除を体系化するため、JAと連携し情報発信を行い、適期防除を図る体制ができた（写真3）。



写真3 トラップ設置

小麦の安定生産を確立するため、地域係と関係機関が薬剤試験の経過状況を確認し、防除効果や今後の対応を共有できた（写真4）。



写真4 薬剤試験ほ場(6/24)

小麦の収量・品質向上に向けた適期は種量の試験をJAと連携し実施することとなった（写真5）。



写真5 試験打合せ(8/24)

○JAの反応

地域で畑作物の生産性向上に向けた試験等の実施は大切！今後も情報交換・連携し農家での問題に直結できるように体制を整えていきたい！

◇地域係との連携活動

本年より、JAと北空知支所地域第1係の合同作況調査を実施。JA全域で足並みが揃った。地域毎での進め方検討は必要だが、情報共有の場ができた（写真6）。



写真6 普及センターとの合同作況調査

所内の畑作担当で簡易種子審査マニュアルを作成し、共通した認識や調査方法で審査する流れを確認し、次年度の備えができた（写真7）。



写真7 完成した種子審査マニュアル

4 今後の課題と対応

(1) 関係機関連携

製品率向上が喫緊の課題である小麦の地域適正は種量試験は、JAと連携し、融雪後より調査活動を実施し、地域の安定生産を図る取り組みを進めていく。

(2) 地域係との連携強化

畑作物に係る問題点を普及センター各地域と係共有し、課題となる輪作体系の構築と、畑作物の収量・品質の安定に向けた栽培体系確立に向け、計画的に連携を強化する。

種子審査マニュアルは、人事異動等による人の動きにも対応できる内容としたことから、今後は有効活用を図り、地域の種子生産への意識向上にもつなげていく。